

水素・燃料電池産業技術人材養成講座 事業化コース

2026年度受講生募集

Hydrogen and Fuel Cell
Commercialization Course

7/31
締切
受講料
無料

受講申込フォーム



<https://forms.office.com/r/6VD0NkBBPR>

🎯 目的・スケジュール ※ R7年度実績を踏まえ、回数・間隔など内容をリニューアル

- ◆ 基礎コースで学習した知識をビジネスに繋げるため、技術提案力向上に必要なポイントを解説。
- ◆ 水素・燃料電池の技術課題や開発動向の理解を促し、技術提案に向けた提案書の作成演習を実施。



全8回	日時	内容 ※括弧内は主な講義
第1回	8月21日(金) 15:00~18:00	開講式・市場参入戦略の背景理解
第2回	8月28日(金) 15:00~18:00	市場調査の進め方
第3回	9月 11日(金) 15:00~18:00	技術マーケティング戦略① [内部・外部環境分析]
第4回	10月 2日(金) 15:00~18:00	技術マーケティング戦略② [製品コンセプト・ビジネスモデル企画]
第5回	10月23日(金) 15:00~18:00	事業提案書の作成(1) [提案書作成]
第6回	11月 13日(金) 15:00~18:00	事業提案書の作成(2) [提案書発表①/展示会活動計画策定]
第7回	12月 4日(金) 15:00~18:00	事業提案書の作成(3) [提案書のブラッシュアップ、活動計画発表]
第8回	12月18日(金) 15:00~18:00	成果報告会・修了式

※ 第2回~第8回は医療機器産業人材養成講座と合同開催

📄 募集要項

- 出願資格** | 現在、水素・燃料電池関連産業分野に参入を目指している県内に事業所もしくは営業所等がある企業に勤務している方等 ※ 詳細は上記QRコードよりご確認をお願いします。
- 募集人員** | 6名(2名×3組)程度 ※ 基礎コース修了生を含む1企業・団体複数名での出願が望ましい。
- 開催場所** | 山梨大学 水素・燃料電池ナノ材料研究センター(甲府市宮前町6-43番地)
- 受講料** | 無料 ※ 講義等に係る費用として実費(事業主負担)を申し受ける場合があります。
- 申込方法** | 上記申込フォームから志願書の希望を送信してください。

担当講師のご紹介



やまなし産業支援機構
臨時的プロジェクトマネジャー
福島 彰一郎 氏

<略歴>

- ・戦略系のコンサルティング会社の取締役として、大手生産財メーカーを中心に新規事業開発及び研究開発戦略などのコンサルティングで18年以上の実績をもつ。
- ・技術者向けの実績的なビジネスリーダー育成プロジェクトも多数実施。技術経営分野の講演等も行う。
- ・大学系ファンドのパートナーとしてスタートアップの投資・支援も経験。

<講義の狙い>

- ・生産財メーカーにとって必要な「技術を顧客価値につなげるマーケティング」の考え方を理解する。
- ・水素・燃料電池分野において事業環境分析を行った上で、自社の強みを生かしたマーケティング戦略策定、ターゲット顧客向けの提案書作成を行う。

指導教官のご紹介



山梨大学
水素・燃料電池技術支援室
客員教授 岡 嘉弘

<略歴>

- ・富士電機株式会社にて34年にわたり燃料電池開発に従事。途中、一般社団法人日本電機工業会に出向し定置用燃料電池の規制見直し、基準・標準に取り組みエネファームの市場化に貢献。また、分散型電源の系統連系技術要件のとりまとめに従事
- ・2015年9月富士電機株式会社を定年退職後、山梨大学水素・燃料電池技術支援室に技術コーディネータとして従事。2022年退職、客員教授として現在に至る。

<指導のポイント>

- ・自社技術の強みを、水素・燃料電池関連技術にどう生かせるのか？事業化に向けて一歩踏み出せるよう技術サイドから指導

※ やまなし水素・燃料電池支援窓口関係者にも参加いただく予定です。

※ 本講座は、やまなし地域活性化雇用創造プロジェクトの一環として、山梨大学が山梨県から受託して実施するものです。

お問い合わせ先

国立大学法人山梨大学 研究推進・社会連携機構 水素・燃料電池技術支援室
〒400-0021 山梨県甲府市宮前町6-43
山梨大学 水素・燃料電池ナノ材料研究センター内
E-mail: hfc-info@yamanashi.ac.jp
TEL/FAX: 055-254-7098